

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	利用者の重度化で食事介助が増えている中、調整が厳しいと思われませんが、より家庭的な雰囲気の中で食事をしてもらうために、時には職員も同席してゆっくり会話を楽しみながら一緒に食事をする機会を作られては如何でしょうか。	食事という事自体、失認しておられる方への介助は食べ物を口の中にお入れするのに時間を要するばかりではなく、咀嚼の様子や嚥下状態まで見届けなくてはなりません。全てのスタッフが「プロの居る家庭」を認識していますので、自身の食事により注意力が散漫にならない様しっかりと見守りしていますが、アドバイス頂きました様に、例えスタッフ1名でも、一緒に楽しく食事できるように工夫をします。	今現在、各ユニットに2名様のご食事介助が必要で、スタッフがマンツーマンにて介助しております。残り1名のスタッフは片付け物を少し後回しにし、テーブルに着き、皆様と一緒にゆっくりと会話を楽しみながら食事を摂る様にしていきたいと思っております。	3ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。